



2016年3月期 第1四半期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2015年7月31日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

2016年3月期 第1四半期決算 サマリー



2016年3月期 第1四半期 実績

- 北米での好調持続を主因に、第1四半期として過去最高の連結販売台数を記録
- 為替レート差、販売台数増加、原価低減の進捗などにより、売上高は第1四半期として過去最高、各利益は全ての四半期を通じて過去最高を記録

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	7,653億円 (+1,719億円)	1,342億円 (+555億円)	1,301億円 (+495億円)	842億円 (+319億円)	225.1千台 (+31.4千台)

2016年3月期 計画

- 期初計画から変更無し
- 第1四半期において為替レート差による増益はあったものの、リコール関連費用の発生もあり、通期計画は期初計画を据え置く

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆300億円 (+1,521億円)	5,030億円 (+800億円)	4,950億円 (+1,014億円)	3,370億円 (+751億円)	928.3千台 (+17.6千台)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

1



2016年3月期 第1四半期 実績

第1四半期実績 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 1Q実績	2016年3月期 1Q実績	増減
登録車	20.4	19.9	▲0.5
軽自動車	6.8	8.1	+1.3
国内合計	27.2	28.0	+0.8
米国	112.4	140.4	+28.0
カナダ	10.8	13.9	+3.1
ロシア	4.0	1.7	▲2.4
欧州	6.9	8.3	+1.4
豪州	9.4	11.3	+1.8
中国	15.7	10.1	▲5.6
その他	7.3	11.5	+4.2
海外合計	166.5	197.1	+30.6
合計	193.7	225.1	+31.4

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～3月

3

2016年3月期 第1四半期の連結販売台数は、前年同期比3万1千4百台の増となる、22万5千百台となり、第1四半期として過去最高を記録しました。

国内では、昨年度に発売したレヴォーグを中心に新型車の販売は好調に推移しましたが、インプレッサやフォレスターなどの既存モデルの販売が減少したことにより、登録車販売は前年同期比5百台減となる、1万9千9百台となりました。一方、軽自動車はモデルチェンジした新型ステラが販売台数の増加に寄与し、前年同期比1千3百台増となる、8千百台となりました。その結果、国内全体では前年同期比8百台増となる、2万8千台となりました。

海外では、重点市場である北米を中心に新型レガシィ、アウトバックの販売が好調に推移し、前年同期比3万6百台増となる19万7千百台となりました。

第1四半期実績 連結業績



(億円)

	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
売上高	5,934	7,653	+1,719
国内	1,162	1,245	+83
海外	4,772	6,408	+1,636
営業利益	787	1,342	+555
営業外損益	19	▲42	▲60
経常利益	806	1,301	+495
特別損益	1	▲9	▲10
税前利益	807	1,291	+485
親会社株主に帰属する 当期純利益	522	842	+319
単独為替レート	¥102/US\$	¥120/US\$	+¥18/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

4

売上高は第1四半期として過去最高、各利益におきましては、全ての四半期を通じて過去最高を記録しました。

連結売上高は、売上台数増加による売上構成差の改善+865億円に加え、為替レート差+821億円、カンパニー等での売上増加+33億円により、年同期比 1,719億円の増収となる、7,653億円となりました。

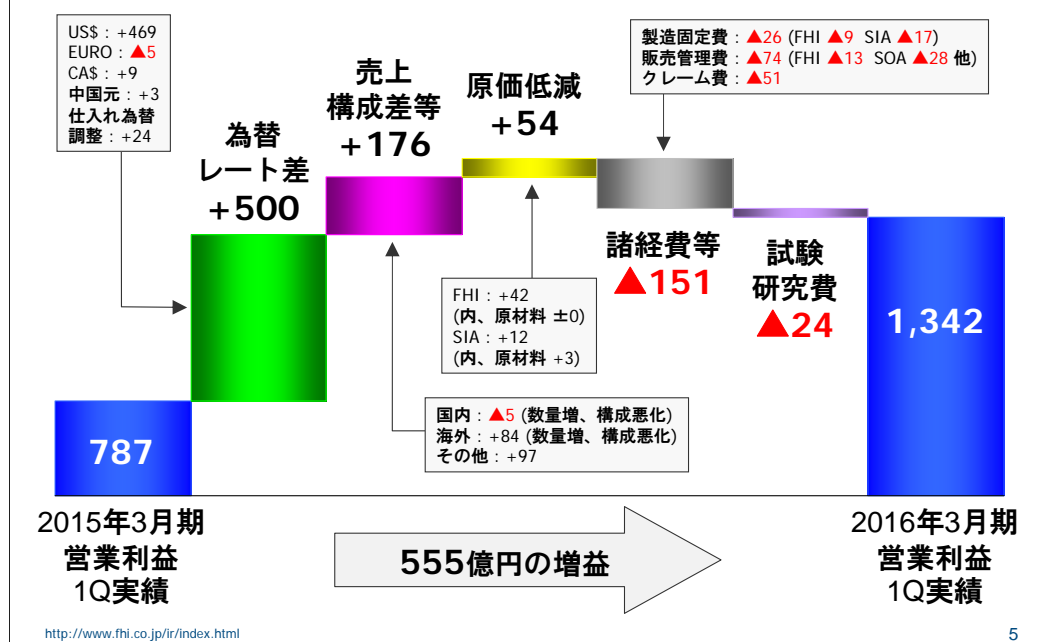
営業利益につきましては、諸経費や試験研究費の増加を、為替レート差や売上構成差の改善、原価低減の進捗で打ち消し、555億円の増益となる、1,342億円となりました。

経常利益は495億円の増益となる1,301億円、税前利益は485億円の増益となる1,291億円、親会社株主に帰属する当期純利益は319億円の増益となる842億円となりました。

第1四半期実績 営業利益増減要因



(億円)



5

前期実績787億円から今期実績1,342億円へと、555億円の増益となった営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>為替レート差で+500億円です。ドルは約18円の円安で+469億円です。ユーロは約8円の円高で-5億円、カナダドルは約4円の円安で+9億円です。

その他、中国元で+3億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で+24億円となりました。

<2>売上構成差等で+176億円です。

①新車国内は-5億円です。

登録車の台数落ち込みを軽がカバーし、数量ではプラスとなりましたが、構成は悪化しました。

②新車海外は+84億円です。主に北米での販売台数増加が寄与しました。

③在庫調整等その他で+97億円です。

<3>原価低減で+54億円です。

そのうち、富士重工が+42億円、SIAは+12億円です。富士重工では原価低減が+42億円、原材料・市況等については±0億円となりました。SIAでは原価低減が+9億円、原材料等は+3億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-151億円です。

①製造固定費の増加により-26億円です。そのうち、富士重工が-9億円、SIAは-17億円です。富士重工では、外製型費の増により-18億円、固定加工費の減で+9億円です。SIAでは、外製型費の増により-8億円、固定加工費の増加により-9億円となりました。

②販売管理費の増加で-74億円です。富士重工では、広告宣伝費の増加、奨励金の増加などにより-13億円となりました。国内ディーラーは-8億円、SOAは-28億円、カナダ子会社は-18億円、その他で-7億円となりました。

③クレーム費の増で-51億円です。

<5>試験研究費の増加で-24億円(159億円→185億円)です。

以上で、2016年3月期 第1四半期の連結営業利益は、555億円の増益となる、1,342億円となりました。

連結貸借対照表



(億円)

	2015年3月末	2015年6月末	増減
総資産	21,997	22,312	+315
流動資産	14,733	14,781	+48
固定資産	7,264	7,531	+267
有利子負債	2,112	2,011	▲101
純資産合計	10,307	10,968	+661
利益剰余金	6,974	7,528	+553
自己資本	10,224	10,878	+654
自己資本比率	46.5%	48.8%	+2.3
D/Eレシオ	0.21	0.18	▲0.02

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

総資産につきましては、2015年3月末から315億円の増加となる2兆2,312億円となりました。

有利子負債は101億円の減少となる2,011億円、純資産は661億円の増加となる1兆968億円、自己資本比率は48.8%、D/Eレシオは0.18となりました。

第1四半期実績 連結キャッシュフロー



(億円)

	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
営業活動CF	3	1,097	+1,094
投資活動CF	▲166	▲328	▲162
フリーCF	▲163	769	+932
財務活動CF	▲367	▲385	▲18
換算差額	▲26	37	+63
手元資金増減	▲556	421	+977
連結の範囲変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	-	▲1	▲1
手元資金合計	5,023	6,541	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払い584億円などがありましたが、税前純利益1,291億円の計上、売上債権の減少371億円などから、1,097億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強などに伴う投資活動があったことから、328億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、769億円です。

財務活動によるキャッシュフローは、借入金の返済や、配当の支払いなどにより385億円のキャッシュアウトとなりました。

第1四半期実績 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
売上高	2,875	3,613	+738
営業利益	61	168	+107
当期純利益	37	99	+62
小売販売台数(千台)	125.3	140.8	+15.5

SIA	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
売上高	959	1,326	+367
営業利益	63	33	▲30
当期純利益	40	21	▲19
スバル生産台数(千台)	41.9	57.8	+15.9

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売は、フォレスター、XV等が引き続き好調である事に加え、昨年夏に導入したレガシィ、アウトバックが大変好評で販売を伸ばし、対前年1万5千5百台増の14万8百台となりました。売上高につきましても、\$738Mの増収となる\$3,613Mとなりました。

営業損益につきましても、数量・構成差+134M、販管費の増-\$27Mにより、\$107Mの増益となる\$168Mとなりました。

SIAの売上高は、\$367Mの増収となる\$1,326Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差▲\$26M、原価低減活動+\$12M、固定費増▲\$16Mにより、\$30Mの減益となる\$33Mとなりました。



2016年3月期 見通し

連結業績計画



(億円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	28,779	30,300	+1,521
営業利益	4,230	5,030	+800
経常利益	3,936	4,950	+1,014
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,619	3,370	+751
単独為替レート	¥108/US\$	¥118/US\$	+¥10/US\$
連結販売台数	910.7 千台	928.3 千台	+17.6 千台
国内	162.8 千台	144.2 千台	▲18.5 千台
海外	747.9 千台	784.1 千台	+36.2 千台

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

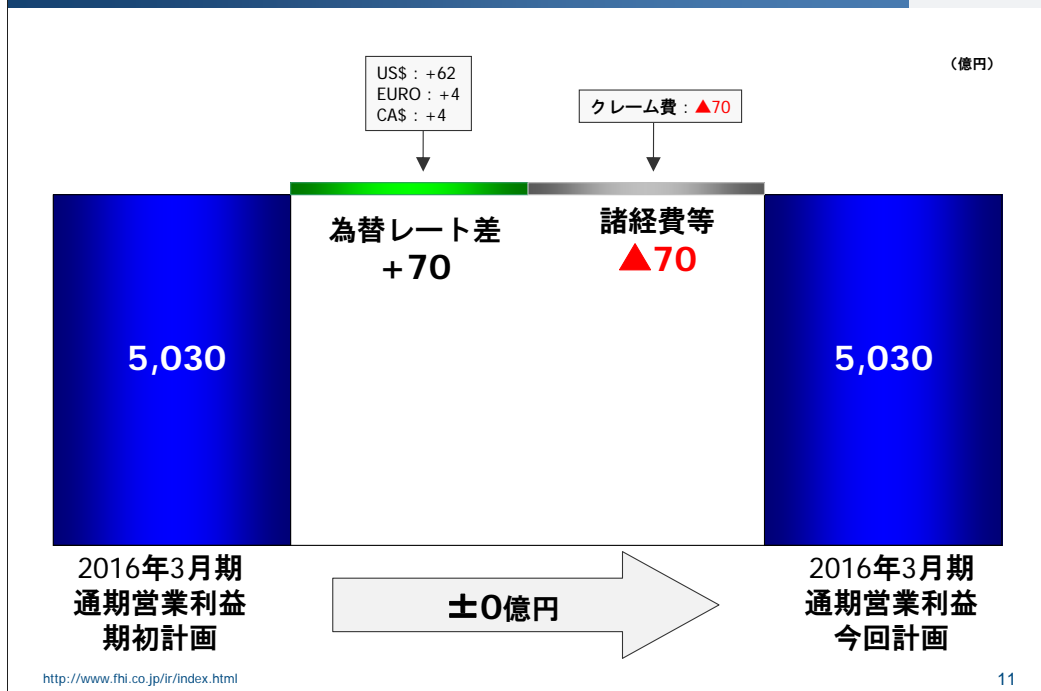
10

2016年3月期の連結業績計画についてです。

連結販売台数、業績計画ともに、期初に発表した計画から修正はございませんが、第1四半期における実績の為替レートが計画を上回ったこと、計画に織り込まれていなかったリコールの引き当てが発生したことを受け、営業利益の増減要因の修正を行います。

修正箇所は次のページでご説明いたします。

通期営業利益 期初計画からの増減要因



11

第1四半期の為替レート実績が計画を上回ったことを受け、為替レート差を期初計画から70億円の増とします。ドルは約2円の円安で+62億円、ユーロは約7円の円安で+4億円、カナダドルは約2円の円安で+4億円です。

一方、期初に計画していなかったリコール関連の引き当てを織り込み、諸経費等で70億円の減といたします。

このように、営業利益の増減要因の一部見直しを行いますが、通期計画の5,030億円に変更はございません。

なお、為替レートにつきましては、第2四半期以降の前提は期初計画から変更しませんが、第1四半期の実績を織り込みますと通期の見通しは米ドル 118円、ユーロ 127円、カナダドル 96円となります。

設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2015年3月期 1Q 実績	2015年3月期 通期実績 (a)	2016年3月期 1Q 実績	2016年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	280	1,107	171	1,300	+193
減価償却費	127	648	154	670	+22
試験研究費	159	835	185	970	+135
有利子負債	2,574	2,112	2,011	1,800	▲312

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

12

設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債につきましては、通期計画の修正はございません。生産能力増強のための投資や、将来商品に向けた試験研究など、計画に則った投資を行ってまいります。

以上で2016年3月期 第1四半期決算の説明を終わります。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 通期業績計画
- ・ 第2四半期累計業績計画

第1四半期実績 連結営業外収支 / 特別損益



(億円)

	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
金融収支	0	6	+6
為替影響	17	▲46	▲64
その他	1	▲1	▲2
営業外収支	19	▲42	▲60
固定資産売却益	3	0	▲3
投資有価証券売却益	1	1	▲1
固定資産除売却損	▲5	▲12	▲6
その他	2	1	▲1
特別損益合計	1	▲9	▲10

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

第1四半期実績 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2015年 3月期 1Q 実績	2016年 3月期 1Q 実績	増減	2015年 3月期 1Q 実績	2016年 3月期 1Q 実績	増減
自動車	5,551	7,188	+1,638	752	1,288	+536
航空宇宙	292	358	+65	26	44	+17
産業機器	75	90	+15	1	2	+1
その他	16	17	+1	7	7	▲0
消去・全社	/	/	/	1	2	+1
合計	5,934	7,653	+1,719	787	1,342	+555

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

15

第1四半期実績 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2015年 3月期 1Q 実績	2016年 3月期 1Q 実績	増減	2015年 3月期 1Q 実績	2016年 3月期 1Q 実績	増減
日本	1,898	2,140	+242	611	1,009	+398
北米	3,310	4,872	+1,563	163	266	+104
その他	726	640	▲86	68	27	▲41
消去・全社	/	/	/	▲55	39	+94
合計	5,934	7,653	+1,719	787	1,342	+555

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

16

第1四半期実績 連結海外売上高



(億円)

	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
北米	3,549	5,183	+1,634
欧州	279	272	▲7
アジア	646	551	▲96
その他	299	403	+104
合計	4,772	6,408	+1,636

第1四半期実績 単独販売台数



(千台)

	2015年3月期 1Q 実績	2016年3月期 1Q 実績	増減
国内生産	169.0	171.0	+2.0
国内売上	30.7	31.3	+0.6
登録車	23.7	21.7	▲2.0
軽自動車	7.0	9.6	+2.6
輸出台数	131.1	137.2	+6.1
海外生産用部品	45.0	54.5	+9.5
単独売上合計	206.8	223.0	+16.1

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18

通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
登録車	127.9	106.7	▲21.2
軽自動車	34.9	37.6	+2.7
国内合計	162.8	144.2	▲18.5
米国	527.6	554.0	+26.4
カナダ	42.4	46.2	+3.8
ロシア	11.6	12.8	+1.2
欧州	35.7	37.7	+2.0
豪州	38.9	42.3	+3.4
中国	53.8	49.7	▲4.1
その他	37.9	41.4	+3.5
海外合計	747.9	784.1	+36.2
合計	910.7	928.3	+17.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 19

通期計画 連結業績



(億円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	28,779	30,300	+1,521
国内	6,529	5,655	▲874
海外	22,250	24,645	+2,395
営業利益	4,230	5,030	+800
経常利益	3,936	4,950	+1,014
税前利益	3,922	4,850	+928
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,619	3,370	+751
単独為替レート	¥108/US\$	¥118/US\$	+¥10/US\$

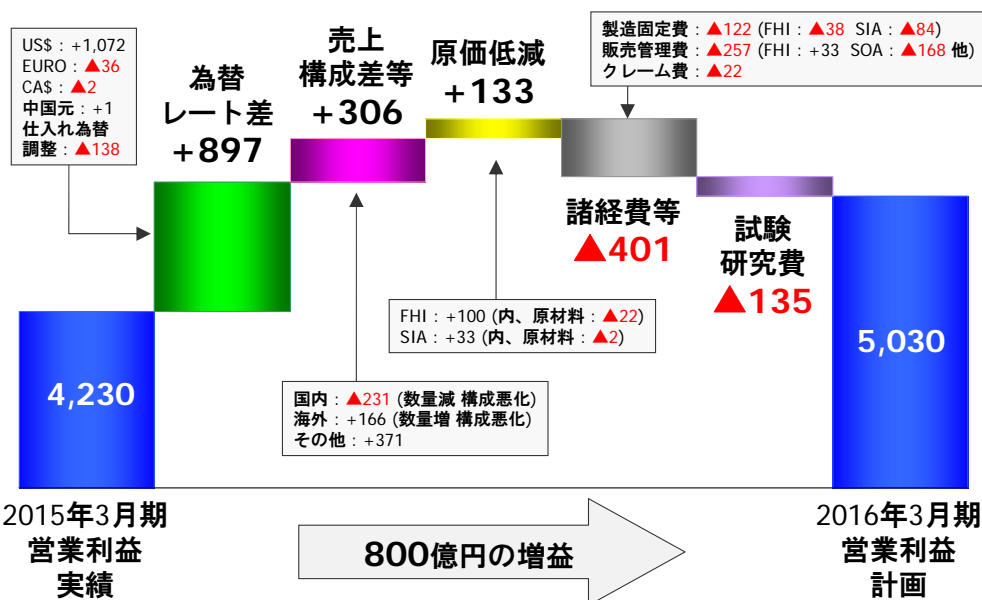
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20

通期計画 営業利益増減要因



(億円)



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

21

第2四半期累計計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2015年3月期 2Q累計 実績	2016年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	56.5	48.5	▲8.0
軽自動車	15.1	18.3	+3.2
国内合計	71.5	66.8	▲4.8
米国	249.9	270.9	+21.0
カナダ	22.1	25.8	+3.8
ロシア	8.6	6.2	▲2.5
欧州	15.6	18.1	+2.5
豪州	19.3	21.9	+2.6
中国	28.7	21.5	▲7.2
その他	15.9	22.4	+6.5
海外合計	360.1	386.8	+26.8
合計	431.6	453.6	+22.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～6月 22

第2四半期累計計画 連結業績



(億円)

	2015年3月期 2Q累計 実績	2016年3月期 2Q累計 計画	増減
売上高	13,102	14,750	+1,648
国内	2,928	2,650	▲278
海外	10,174	12,100	+1,925
営業利益	1,857	2,440	+583
経常利益	1,760	2,400	+640
税前利益	1,747	2,350	+603
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,130	1,630	+500
単独為替レート	¥102/US\$	¥119US\$	+¥17/US\$

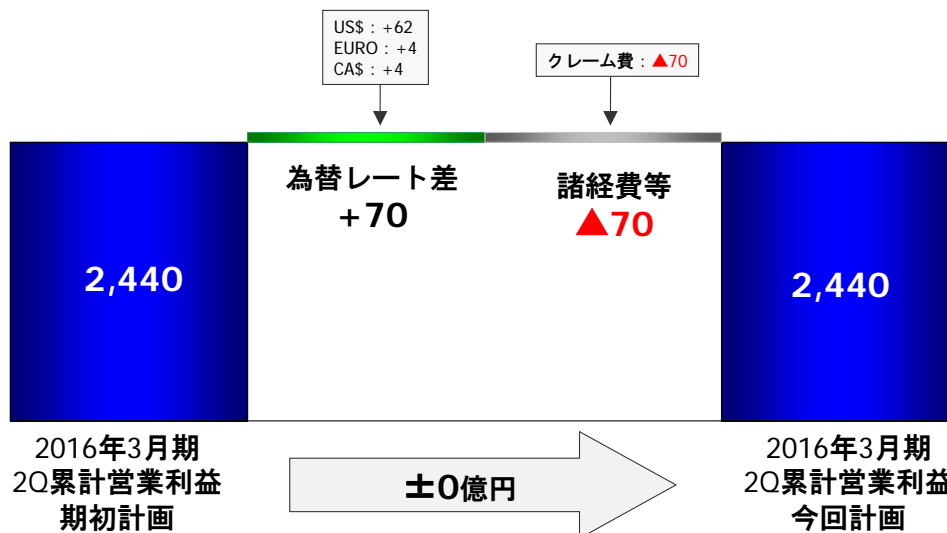
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

23

第2四半期累計営業利益 期初計画からの増減要因



(億円)



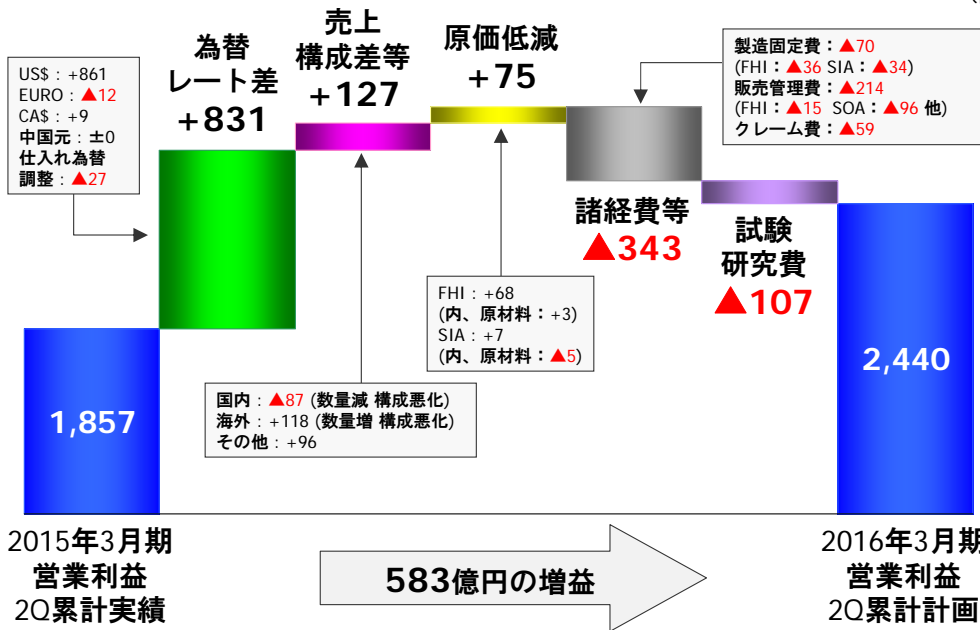
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

24

第2四半期累計計画 営業利益増減要因



(億円)



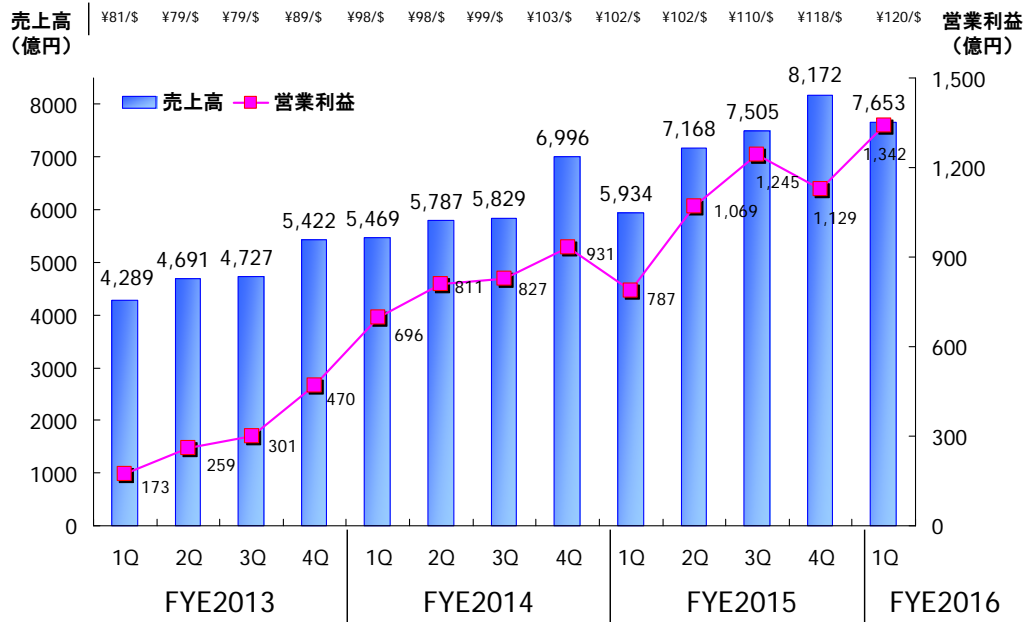
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

25

ご参考 (2)

- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件

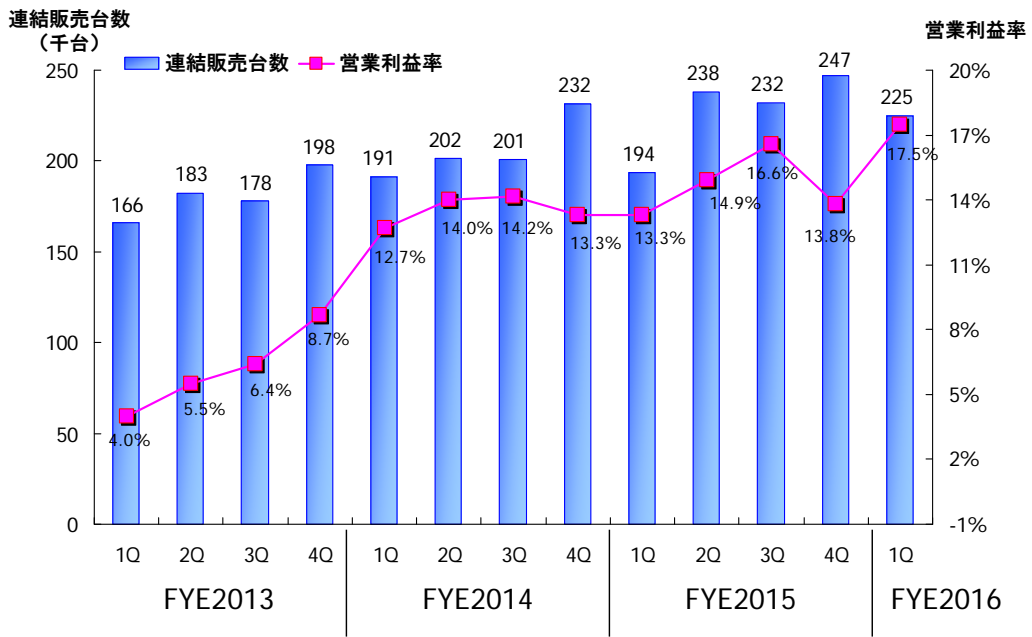
売上高 / 営業利益 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

27

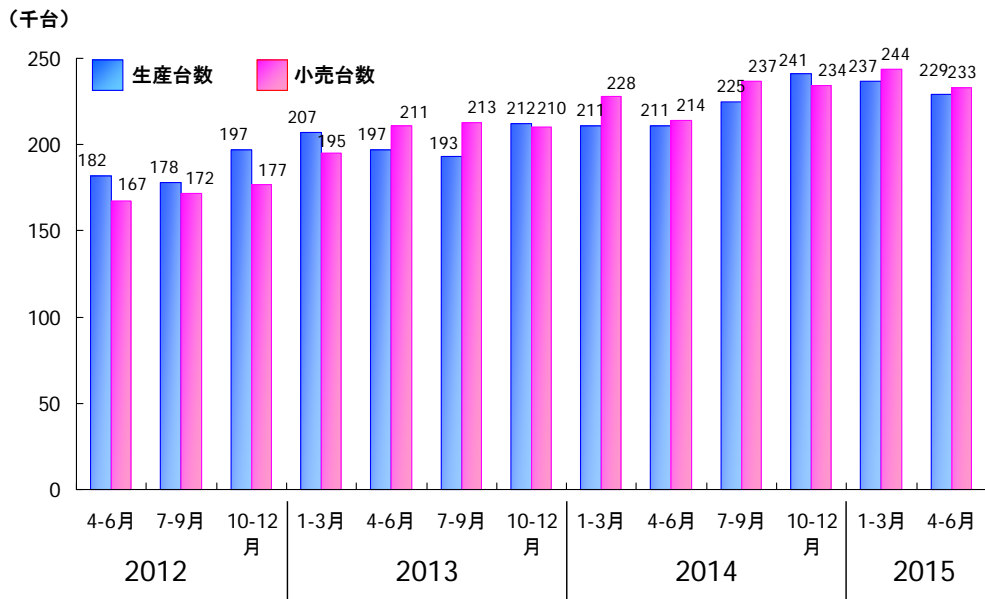
連結販売台数 / 営業利益率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

28

生産台数 / 小売台数 推移

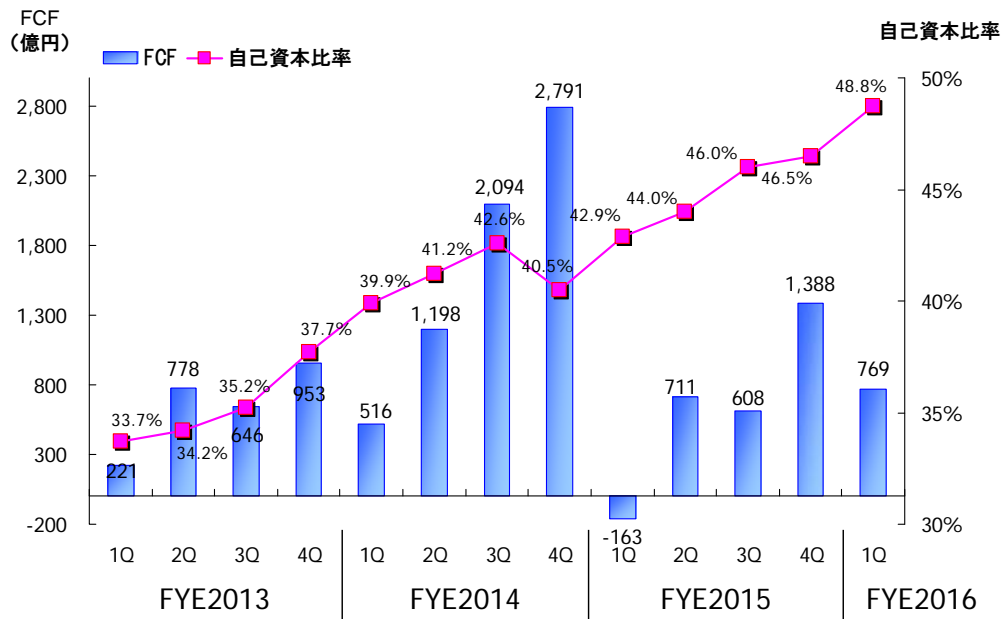


※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

29

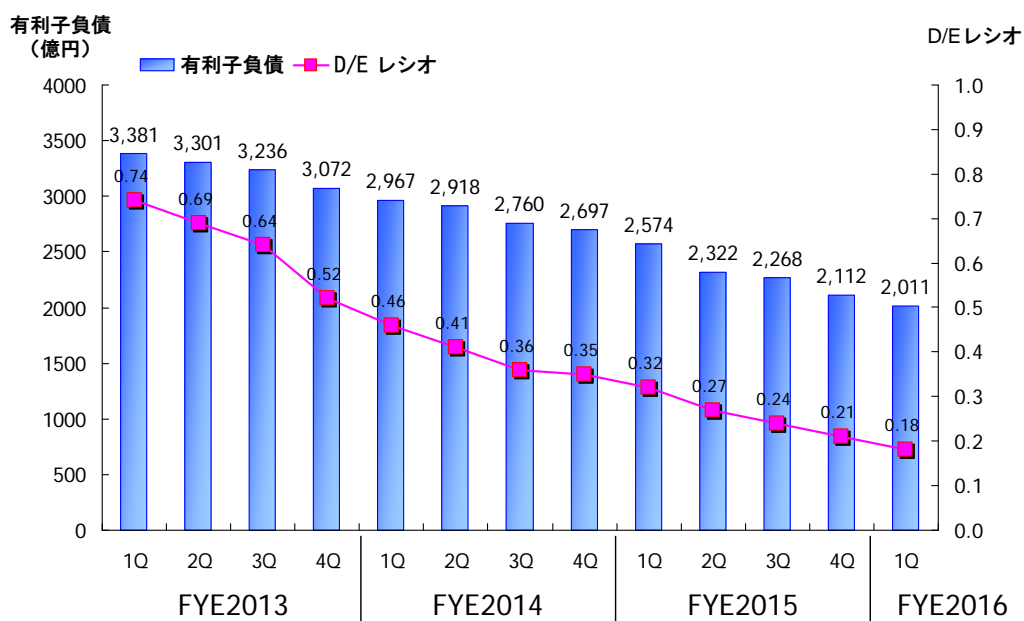
FCF / 自己資本比率 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

30

有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

第1四半期 主な広報発表案件



(発表日)

生産・販売関係

- 先進運転支援システム「アイサイト」搭載モデルが国内累計販売台数30万台を達成 (4/20)

商品関係

- 「STI Performance Concept」をニューヨーク国際自動車ショーにて世界初公開 (4/2)
- 新型「CROSSOVER 7 (クロスオーバーセブン)」を発売 (4/16)
- 4車種が2014年度「新・安全性能総合評価 ファイブスター賞」を受賞 (5/8)
- 「アイサイト」を搭載するCROSSOVER 7が予防安全性能アセスメントで最高ランクを獲得 (6/1)
- インプレッサ SPORT HYBRID発表 (6/19)
- 「SUBARU BRZ tS」を300台限定発売 (6/30)

その他

- 「太田市野球場建設基金」に寄付 (5/8)
- アクティブライフ応援活動の取り組みを発表 (5/14)
- SUBARU WRX STIがニュルブルクリンク24時間耐久レースでクラス優勝 (5/18)



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみに全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>